

第4章. 文化財(日野の“たから”)に関する既往の取組

1. 文化財の総合把握調査

(1) 総合把握調査

当町の文化財の総合的な把握調査は、戦前の郡志編さんにさかのぼり、その成果は大正 11 (1922) 年に『近江蒲生郡志』として刊行されました。

昭和 30 (1955) 年の合併後、初の町史の編さん事業が平成 14 (2002) 年に始まり、通史編（自然・古代、中世、近世、近現代編）及び分野編（文化財、民俗、日野商人、史料、絵図・要覧編）の全 9 巻からなる『近江日野の歴史』（平成 27 (2015) 年）が完成しました。また、合併以前の各旧町村の地域史については『近江日野町志』が編さんされているほか、合併後の各地区において、地縁による団体や個人等により郷土史として取りまとめられています。

主な地域史・郷土史

地区	名称	著編者等	発行年
日野町 全般	近江蒲生郡志 巻 1～10 近江蒲生郡志 別巻 昭和編 近江日野 ふるさとの系譜 近江日野の歴史年表 ふるさとの日野 西大路 鎌掛 地名随歩 近江日野の歴史 第 1～9 巻 ふるさと日野の歴史	滋賀県蒲生郡役所 渡辺守順 岡村信治 満田良順 瀬川功 日野町史編さん委員会 日野町	大正 11 (1922) 年 昭和 48 (1973) 年 昭和 53 (1978) 年 平成 14 (2002) 年 平成 15 (2003) 年 平成 17 (2005) 年 ～平成 27 (2015) 年 平成 28 (2016) 年
日野	近江日野町志 巻上・中・下	滋賀県日野町教育会	昭和 5 (1930) 年
東桜谷	東桜谷志 おくしあゆみ 50 年誌 東桜谷 昭和・平成史	東桜谷郷土史編集委員会 宇奥師あゆみ実行委員会 東桜谷郷土史研究会	昭和 59 (1984) 年 平成 18 (2006) 年 平成 23 (2011) 年
西桜谷	西桜谷地区 史跡の探訪	西桜谷公民館	平成 8 (1996) 年
西大路	西大路風土記 ふるさと西大路の歴史旧跡案内 西大路歴史読本 ふるさとつれづれ散歩 続 ふるさとつれづれ散歩	西大路老人会 西大路公民館 西大路公民館 若林憲秀 若林憲秀	昭和 47 (1972) 年 平成 3 (1991) 年 平成 12 (2000) 年 平成 14 (2002) 年 令和 5 (2023) 年
鎌掛	鎌掛村志 上・中・下巻 ふるさと鎌掛の歴史 第 1～3 巻 ふるさと鎌掛の歴史 第 4 巻	瀬川喜久治 瀬川欣一 福本英一	昭和 29 (1954) 年 ～昭和 32 (1957) 年 平成 12 (2000) 年 ～平成 17 (2005) 年 令和 4 (2022) 年
南比都佐	日野大字下迫あれこれ ふるさとの語り草 ふるさと上駒月の歴史 日野町 下駒月のお話	谷嘉雄 曾羽忠夫 上駒月の歴史を語る会 横井邦彦	平成 6 (1994) 年 平成 10 (1998) 年 平成 17 (2005) 年 平成 28 (2016) 年
必佐	北比都佐郷土読本 芋くらべの里 中山史 十禅師歴史読本 三十坪下字誌 大字小谷の歴史	北比都佐国民学校 岡本信夫 十禅師編纂委員会 三十坪下歴史編さん委員会 臼井忠博	昭和 18 (1943) 年 平成 9 (1997) 年 平成 12 (2000) 年 平成 23 (2011) 年 平成 23 (2011) 年

(2)個別(類型別)調査の現状と課題

1) 有形文化財

建造物は、滋賀県による昭和末期の近世社寺建築緊急調査、平成前期の近世民家調査や近代化遺産(建造物等)総合調査、指定文化財(建造物)の保存修理に伴う個別調査等があります。また、当町が行った町史編さん事業に伴う把握調査や西大路藩武家屋敷調査、日野商人^{ほんたく}本宅調査等により、寺社建築や石造物、武家屋敷や日野商人の本宅についてはおおむね把握できていますが、民家建築や近代建築については、調査が部分的であり、一部の把握にとどまっています。

美術工芸品は、文化庁による昭和後期の文化財集中地区特別総合調査や、滋賀県による昭和末期から平成初期の^{だいほんにや はらみつ たきょう}大般若波羅蜜多經調査、平成後期の^{ぼんのんぐ}梵音具資料調査等があります。

当町では、近世絵画資料調査や社寺所蔵資料調査、絵図資料調査、町史編さん事業に伴う古文書調査等を行っており、成果を『近江日野の歴史』に収録しています。

以上のように、町史編さん事業に伴い把握調査を行いました。が、一部の把握のみにとどまる項目もあり、すべての対象を把握できていないことから、今後も継続調査が必要です。

2) 無形文化財

無形文化財は、調査を実施しておらず、把握できていません。

3) 民俗文化財

有形の民俗文化財は、滋賀県による昭和末期から平成初期の有形民俗文化財収集調査があります。

当町では、町史編さん事業に伴う調査や町民から寄贈された民具類の収蔵を行っていますが、生活様式の変容等による用具の変化や滅失等に対応するため、今後も継続調査が必要です。

無形の民俗文化財は、滋賀県による昭和後期の民俗文化財地域伝承活動記録作成(滋賀の無形民俗)や平成初期の伝統食文化調査、平成後期の民俗行事まると調査(滋賀県の民俗)等があります。

当町では、平成初期以降、^{ひきやま}曳山の調査を行い『日野曳山調査報告書』を刊行するとともに、民俗行事現地調査を実施し、成果を『近江日野の歴史』に収録する等、町史編さん事業に伴う把握調査でおおむね把握できていますが、少子高齢化や生活様式の変容等による祭礼等の変化や滅失等、実施状況の確認が必要です。

4) 記念物

遺跡は、滋賀県による昭和末期から平成初期の中世城郭分布調査や、平成中期の中近世古道調査、また昭和後期以降の発掘調査等があります。

当町では、町史編さん事業に伴う把握調査を行っていますが、地区により偏りがみられます。

名勝地は、調査が実施されておらず、把握できていません。

動物・植物・地質鉱物は、当町で行った町史編さん事業に伴う把握調査でおおむね把握できています。

以上の成果は『近江日野の歴史』に収録していますが、把握できていない類型や地区に偏りがみられることから、今後も継続調査が必要です。

5) 文化的景観

文化的景観は、滋賀県による平成後期の農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究や、琵琶湖と水が織りなす文化的景観所在確認調査により、^{どいごうち}在郷町と農地が織りなす生業の景観や農村の生活を表す景観等を把握していますが、一部の地区にとどまることから今後も継続調査が必要です。

6) 伝統的建造物群

伝統的建造物群は、制度化前の昭和後期に文化庁の集落町並予備調査で滋賀県による日野町内の3か所の町並みの候補地報告、平成前期に滋賀県による中世古道調査において鎌掛宿の調査が行われたほか、財団法人日本ナショナルトラスト（現、公益財団法人日本ナショナルトラスト）による日野・西大路地区における町家の調査があります。

当町では、西大路藩武家屋敷調査や日野商人本宅調査、町史編さん事業に伴う調査により、^{にしやうじ}仁正寺（西大路）^{じんやまら}藩陣屋町や^{まつお}松尾、^{おおくぼ}大窪、^{むらい}村井、西大路の町家の把握調査を行っており、成果は『近江日野の歴史』等に収録しています。一部の地区にとどまることや、経年による滅失等が考えられることから今後も継続調査が必要です。

7) 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、滋賀県により平成前期の県営ほ場整備事業と県営かんがい排水事業や、平成後期の道路整備工事や当町による区画土地整備事業等で発掘調査があります。

当町では、昭和後期に実施した日野町内遺跡詳細分布調査により分布状況を把握しています。それに基づき現在まで継続的に発掘調査等を行い、成果は日野町埋蔵文化財発掘調査報告書（第1集～24集）に収録していますが、地区により調査実施件数等の偏りがあり、把握状況に差がみられます。

(3)地域遺産に関する調査の現状

地域遺産は、平成14年度から実施した町史編さん事業や、本計画策定に伴い令和4年度に行った日野の歴史文化に関するヒアリングとアンケート調査、令和5（2023）年に行ったワークショップ等で把握しています。

(4)文化財(日野の“たから”)の調査状況

文化財（日野の“たから”）の調査状況は下記のとおりです。

文化財（日野の“たから”）の調査状況

種類・分類			日野地区	東桜谷地区	西桜谷地区	西大路地区	鎌掛地区	南比都佐地区	必佐地区
有形文化財	建造物		△	△	△	△	△	△	△
	美術工芸品	絵画	△	△	△	△	△	△	△
		彫刻	△	△	△	△	△	△	△
		工芸品	△	△	△	△	△	△	△
		書跡・典籍	△	△	△	△	△	△	△
		古文書	○	○	○	○	○	○	○
		考古資料	△	△	△	△	△	△	△
		歴史資料	○	○	○	○	○	○	○
無形文化財			—	—	—	—	—	—	
民俗文化財	有形の民俗文化財		△	△	△	△	△	△	
	無形の民俗文化財		○	○	○	○	○	○	
記念物	遺跡		△	△	△	△	△	△	
	名勝地		—	—	—	—	—	—	
	動物・植物・地質鉱物		○	○	○	○	○	○	
文化的景観			△	—	—	△	—	—	△
伝統的建造物群			○	—	—	○	○	—	—
埋蔵文化財			○	○	○	○	○	○	○
地域遺産			△	△	△	△	△	△	△

○：おおむね調査ができている △：さらに調査が必要 —：未調査

既往の文化財調査一覧（令和6年8月時点）

種類・分類		小分類	No	調査名等	調査主体等	刊行年・調査年度等
総合把握			1	日野町史『近江日野の歴史』第1～9巻刊行に伴う把握調査	日野町	平成14～26年度
有形文化財	建造物	住居	2	滋賀県緊急民家調査	滋賀県	昭和41年度
			3	滋賀県近世民家調査	滋賀県	平成8～9年
			4	西大路藩武家屋敷調査	日野町	平成4～6年
			5	日野商人本宅調査	日野町	平成7～15年
			6	滋賀県近世社寺建築緊急調査	滋賀県	昭和58～60年度
		近代建築物（住居）	7	滋賀県近代和風建築総合調査	滋賀県	平成4～5年
		近代建築物（住居以外）	8	滋賀県近代建築調査	滋賀県	昭和62～平成元年度
			9	滋賀県近代化遺産（建築物等）総合調査	滋賀県	平成10年
		石造物	10	滋賀県石造建造物調査	滋賀県	平成2～4年度
	美術工芸品	絵画、彫刻、工芸品、書跡等	11	文化財集中地区特別総合調査（湖東地方の文化財）	文化庁	昭和48年
			12	滋賀県所在梵音具資料調査	滋賀県	平成21～24年
		工芸品	13	滋賀県古文書等所在確認調査	滋賀県	昭和53～57年度
			14	滋賀県大般若波羅蜜多経調査	滋賀県	昭和60年・63年・平成2年
			15	滋賀県所在古経典緊急調査	滋賀県	平成15～16年
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	16	滋賀県有形民俗文化財収集調査（滋賀県の民具）	滋賀県	昭和53～平成8年
			17	農具・生活用具等の収集※町民からの寄贈	日野町	随時
	無形の民俗文化財	風俗慣習	18	滋賀県民俗文化財地域伝承活動記録作成（滋賀の無形民俗）	滋賀県	昭和55年度
			19	近江の鋳物師調査	滋賀県	昭和61～62年度
			20	滋賀県諸職関係民俗文化財調査（滋賀県の諸職）	滋賀県	昭和63年～平成元年度
			21	滋賀県祭礼行事実態調査（滋賀県の祭礼行事）	滋賀県	平成3～5年度
			22	滋賀県伝統食文化調査（滋賀県の伝統食文化）	滋賀県	平成6～9年度
			23	滋賀県選択無形民俗文化財記録作成（滋賀の食文化財）	滋賀県	平成11～12年度
			24	滋賀県自然神信仰調査報告書（滋賀県の自然神信仰）	滋賀県	平成14～19年度
			25	滋賀県民俗行事まると調査（滋賀県の民俗）	滋賀県	平成22～24年度
			26	熊野 社会人類学的調査	南山大学	昭和53～55年
			27	近江中之郷村落誌	成城大学	平成元～6年度
		民俗芸能	28	民謡緊急調査（滋賀県の民謡）	滋賀県	昭和59～60年度
			29	滋賀県民俗芸能緊急調査（滋賀県の民俗芸能）	滋賀県	平成7～10年
			30	日野祭調査	日野祭調査委員会	昭和50～51年度
			31	日野曳山調査	日野町	昭和63・平成元年
			32	日野のホイノボリ調査	日野町	平成14～15年
			33	滋賀県日野町曳山現況調査	関西大学	平成19～21年度
記念物	遺跡	城郭跡	34	滋賀県中世城郭分布調査（旧蒲生・神崎郡の城）	滋賀県	昭和60年
		古道跡	35	中近世古道調査（御代参街道・杣街道）	滋賀県	平成12年
		戦争遺跡	36	滋賀県戦争遺跡分布調査	滋賀県立大学、滋賀県平和祈念館	平成28年
	動物・植物・地質鉱物	植物	37	自然環境保全基礎調査 植生調査	環境省	昭和54年
文化的景観			38	農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究	文化庁	平成12～14年
			39	琵琶湖と水が織りなす文化的景観所在確認調査	滋賀県	平成20～23年
埋蔵文化財			40	日野町内遺跡詳細分布調査	日野町	昭和58～63年
			41	町内遺跡発掘調査	日野町	昭和58年～

資料：文化庁資料、滋賀県資料等

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

資料編

2. 文化財の保存・管理

(1)文化財の保存・管理の取組

1) 文化財の指定等の状況

国及び県、町による文化財の指定等は、令和6年8月時点で91件です。このほか、重要美術品は2件あります。

近年では、県指定として平成29(2017)年に仁正寺藩市橋家墓所および奉獻石燈籠(西大路)、馬見岡綿向神社祭礼渡御図絵馬(村井)が指定されています。また、平成29年度に岡家住宅主屋(鎌掛)が、令和3年度に旧山口嘉七家住宅主屋/北蔵/東蔵(大窪)がそれぞれ国の登録有形文化財(建造物)となっています。

2) 保存・継承の取組

指定等文化財の保存・継承のため、近年、以下の事業を行いました。

有形文化財では、平成25年度から28年度に信楽院本堂(村井/県指定)の保存修理、平成28・30年度に木造聖観音立像(中山/国指定)等が安置されている金剛定寺本堂の修理及び防災・防犯設備設置、平成30年度に木造阿弥陀如来坐像(中山/国指定)等が安置されている光明院本堂の修理及び防災設備設置、令和4年度に木造十一面観音立像(西明寺/国指定)等が安置されている西明寺観音堂の修理及び防災・防犯設備設置を行いました。

有形の民俗文化財では、令和元から2年度に馬見岡綿向神社祭礼渡御図絵馬(村井/県指定)の保存修理を行いました。

無形の民俗文化財では、令和4年度に近江中山の芋競べ祭り(中山/国指定)の祭礼用具の修理及び伝承講習支援を行いました。



信楽院本堂保存修理



馬見岡綿向神社祭礼渡御図絵馬の保存修理

日野曳山祭（県指定）については、平成 30 年度に日野曳山保存修理専門審査会を設置し、平成 30 年度に^{きんえいちやう}金英町、令和元から 2 年度に西大路、令和 3 から 4 年度に^{すごろくちやう}双六町、令和 4 年度に^{しんちやう}新町、令和 5・6 年度に^{ほんまち}本町、令和 6 年度に^{いまい ちやう}今井町の曳山の保存修理を行いました。また、保存団体育成事業として無形民俗文化財保存団体に対して補助金を交付しており、祭礼行事の保存、継承、公開、後継者育成を図っています。



西大路曳山の保存修理

記念物では、平成 24 年度に鎌掛谷ホンシャクナゲ群落（鎌掛／国指定）の環境整備を行いました。

(2)防災・防犯の取組

文化財の防災・防犯の取組としては、平成 28・30 年度に金剛定寺本堂、平成 30 年度に光明院本堂、令和 4 年度に西明寺観音堂で、自動火災報知機や防犯カメラの設置等を行いました。また、寺院、神社等をはじめとした指定等文化財の防災対策として、毎年 1 月 26 日の文化財防火デーに合わせて文化財消防査察や消防訓練を行っています。



防災・防犯設備の設置



消防訓練

(3) 価値や魅力等の情報発信

1) 各種情報発信

町ホームページ(「歴史の蓄積」等)や広報誌(『広報ひの』)、メール配信サービス(日野め〜る)により文化財に関する情報発信を行っています。その他に「指定文化財マップ」、「観光マップ」、「武士(もののふ)MAP」、「日野祭」、「食文化に関する小冊子」等、当町の歴史文化の魅力を伝える多彩なパンフレットやリーフレット等を作成、配布しています。

平成27年度には、町史『近江日野の歴史』の内容を住民に広く親しんでもらうため、わかりやすい文章とカラー写真を用いた町史ダイジェスト版『ふるさと日野の歴史』を編集・刊行しました。『ふるさと日野の歴史』は、町内の希望世帯に配布したほか、小学校6年生児童に配布し、ふるさと学習に活用しています。



『近江日野の歴史』



『ふるさと日野の歴史』の配布

2) 展示・公開施設の整備

当町では、日野商人の本宅や合ごうやく薬商の店舗を展示・公開施設として整備し、活用しています。このうち、日野町歴史民俗資料館近江日野商人館(昭和56(1981)年開館)は、昭和前期に建築された旧山中兵右衛門家きゅうやまなかひょうえもんの本宅で、主屋などの建造物や庭園を公開するとともに、日野商人の資料や民俗資料等の展示を行っています。近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」きゅうやまなかしょうきち(平成27(2015)年開館)は、江戸末期から昭和前期に建築された旧山中正吉家の本宅で、主屋や洋間などの建造物や庭園を公開し、所蔵資料等の展示を行うとともに、伝統的な郷土料理を体験できる、体験・交流拠点として活用しています。

日野まちかど感応館(平成17(2005)年開館)は、明治時代から大正時代に建築された旧正野薬店しょうのの店舗・蔵を、日野観光協会事務所として整備したもので、薬業に関する資料展示のほか、観光案内や喫茶の提供など、ま



ギャラリーつつむ

ちなかの観光拠点として活用しています。また、もと包装場をギャラリーつつむ（日野観光協会運営）として活用しており、日野曳山祭や町内の名所・旧跡を題材とした写真コンクール展や地元作家の作品展示等により、町の魅力の発信と人の出会いの「場」の創出に取り組んでいます。

当町の歴史文化の学びと観光拠点である近江日野商人館、近江日野商人ふるさと館、日野まちかど感応館では、各館が連携し、これまで「綿向山」^{わたむきやま}、「日野商人」、「日野合衆」、「教育」、「蒲生氏」^{がもうの}、「仁正寺藩市橋氏」、「祭礼」等のテーマの企画展を開催してきたほか、情報共有や町内観光ルートの設定等、観光客の受け入れ体制の充実を図っています。この他、昭和5（1930）年に建築された旧鎌掛小学校（平成13（2001）年閉校）は、関係団体のNPO法人蒲生野考現倶楽部が青少年の自然学習と里山体験の活動拠点として活用しているほか、木造校舎や講堂などの建造物の公開や民具の収集・展示を行っています。



ギャラリートーク（ふるさと館）

※来館実績（令和4年度）

近江日野商人館：5,674人、近江日野商人ふるさと館：5,631人、
日野まちかど感応館：12,005人

資料：統計でわかる！日野のすがた 2023（日野町、令和6年2月）

3）講演会・イベントの開催

当町の歴史文化の普及啓発等の取組として、日野町教育委員会事務局生涯学習課歴史文化財担当が、当町の歴史や日野商人、城郭、民俗文化財などを題材とした各種講座や講演会を実施してきたほか、城跡や陣屋町をめぐる探訪会を毎年開催し、地域の歴史文化の再発見や観光資源の掘り起こしに取り組んでいます。また、各地区の公民館では、日野商人や祭礼、渡来文化など地域の歴史をテーマとした講演会や見学会、歴史ウォークを定期的に行っており、毎回多くの参加者を集めています。その他、地域団体が中心となって実施している「日野ひなまつり紀行」や「さじき窓アート」^{さじきまど い}は、町並みや棧敷窓を活かした歴史散策イベントとして、町内だけでなく、町外からも多くの来訪者を集めています。



旗本関氏ゆかりの寺院探訪会



日野ひなまつり紀行

(4) 地域や学校等との取組及び連携

1) 学校教育

学校教育との連携として、副読本『わたしたちの日野』を作成・改訂しているほか、地域学校協働活動(ふるさと絆事業)の一環として、日野菜の栽培や歴史探訪、『ふるさと日野の歴史』や『わたしたちの日野』を教材とした授業など、小中学校・地域・行政が連携し、子どもたちの郷土愛を^{はぐく}む「ふるさと学習」の推進しています。例えば、日野小学校では学校の伝統としてお囃子^{はやし}クラブの活動を推進しており、小学生が祭囃子に親しむ習慣を築いています。

また、西大路小学校や必佐^{ひつさ}小学校では、6年生児童がふるさと学習の成果としてまとめたパネルやポスターの展示会を近江日野商人ふるさと館や地区公民館で開催しており、子どもたちの学びをきっかけとして、住民が日野の魅力を再発見できるような機会が作られています。



小学生の歴史探訪・見学



ふるさと学習の成果展

2) 地区、公民館での取組

町内7地区の公民館では、それぞれの地域の特性を活かした独自の事業や活動を通じ、町民が郷土に親しみながら活動・学習のできる機会として、歴史文化に関するウォーク・探訪事業や公民館広報による文化財の紹介、地区の歴史文化を紹介するかるたや絵屏風の作成、講師を招いた講演会等を開催しています。

また各公民館が開催する文化祭では、町民による生花や茶道、雅楽等の発表が行われ、伝統芸能・文化の継承の機会となっています。

これらの取組は、町民が地区の歴史文化に触れる機会を創出するとともに、世代間交流の場となっています。



歴史ウォーク事業(日野公民館)



日野菜漬けコンクール(鎌掛公民館)

各地区公民館の取組

地区	公民館	主な取組
日野地区	日野公民館	歴史に関するウォーク・クイズラリー実施、史跡看板マップ作成 等
東桜谷地区	東桜谷公民館	東桜谷に関する歴史講座、東桜谷地区のクイズ・検定・マップの作成 等
西桜谷地区	西桜谷公民館	西桜谷地区サイクリングマップ作成、歴史に関する探訪 等
西大路地区	西大路公民館	西大路に関する歴史講座、歴史に関する探訪 等
鎌掛地区	鎌掛公民館	鎌掛ふるさとかるた作成、ふるさと鎌掛の絵屏風作成、地蔵堂めぐり 日野菜漬けコンクール 等
南比都佐地区	南比都佐公民館	南比都佐地区の歴史文化を館報で紹介 等
必佐地区	必佐公民館	必佐地区のクイズ・検定、自然・歴史に関するウォーク 等

7つの地区公民館



日野公民館



東桜谷公民館



西桜谷公民館



西大路公民館



鎌掛公民館



南比都佐公民館



必佐公民館

3) 町内の関係団体の取組

町内では文化財の保存・活用に関する様々な団体が所在、活動しています。

講演会・フォーラム・見学会・調査など、文化財に関連した取組を幅広く行う日野文化懇談会、町並みを次世代に継承していくことをめざしセミナーや^{べんがらとそう}弁柄塗装の普及活動等を行う日野まちなみ保全会、城跡の調査や環境整備を行う^{おとわ}音羽山びこクラブ・^{なかのじょうあと}中野城跡の保存を進める

会、自然環境や里山の保全活動を行う NPO 法人蒲生野考現倶楽部・まるばの会、日野祭の保存継承と祭囃子の後継者育成の取組や日野祭古写真のデジタルアーカイブで情報発信を行う日野曳山保存会、観光や地域おこしイベントを行う日野観光ボランティアガイド協会“わたむき”・日野ひなまつり紀行実行委員会・日野まちなか歴史散策とさじき窓アート実行委員会等、数多くの団体が存在し、調査・研究・保存・活用等、各団体が趣向を凝らした様々な取組を実施しています。



講演会の開催（日野文化懇談会）



弁柄塗装の普及活動
(日野まちなみ保全会)



城跡の環境整備
(音羽山びこクラブ)

4) 広域（県外）との交流

当町は、日野出身の戦国武将蒲生^{うじさと}氏郷をゆかりとして、三重県松阪市・福島県会津^{まつさか}若松市と交流を深めています。松阪市とは、昭和 53 (1978) 年 11 月 3 日に文化交流都市提携の締結を行い、平成 14 (2002) 年には、会津若松市を含む 3 市町で「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク共同宣言」に署名し、以来、教育・文化・産業・観光を通じた交流を深めています。

また、令和 4 年度以降、埼玉県で「近江日野商人サミット」を開催し、近江日野商人にルーツをもつ企業や市民との交流を図っています。